

山の百花

セシ食 白 美智子

【37】シロヤシオ（白八汐又は五葉躑躅）シロヤシオの和名の由来は、葉が白いことから……枝先に5枚の葉が輪生状に付くことからゴヨウツツジ（五葉躑躅）とも呼ばれる。「純白の花のように純真な心を持った子供に育ってほしい」との願いから、敬宮愛子様のお印（しるし）に選ばれている。

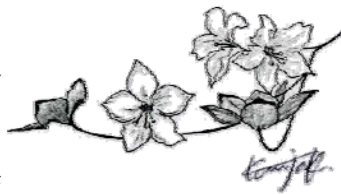
今でも臉を閉じると、浮かんでくる風景がある。もう7〜8年も前の話になるが、ステーションビークではなくリビンググビパークをしていたNさんご夫婦と茶臼岳、三本槍ヶ岳にいった時です。

1日目・黒磯駅↓ロープウェイ山頂駅↓茶臼岳↓峰の茶屋跡非難小屋↓沼原分岐↓三斗小屋温泉、大黒屋泊。

2日目・大黒屋↓熊見曾根↓朝日岳↓熊見曾根↓北温泉分岐、清水平↓三本槍ヶ岳↓清水平↓赤面山分岐↓北温泉↓旭・北湯入り口バス停という計画でした。

2日目大黒屋から隠居倉に立った途端に突風に遭い。飛ばされませんようにと祈り

ながら慎重に熊見曾根まで、雲行きも怪しい中、朝日岳を往復し、三本槍ヶ岳も往復し北温泉まで長い下りが待っていると思いきや身体も心も萎えていたときです。うつすらとした霧の中から白い花が目飛び込んできました。斜面一面に白い花がいっぱいもう疲れもとび、ルンルン気分です北温泉まで下った。Mt.ジーンズスキー場のゴンドラがオフシーズンも動いていて、あの中の大倉尾根に簡単に行けると聞いてチャレンジしたがまだ花の時期にもう一歩だった。残念。



【38】タカネマツムシソウ（高嶺松虫草）一般的なマツムシソウは秋の花。わが国の固有種。和名の由来は「松虫・スズムシ」の鳴く頃の花だから……とか。色は薄い紫。

高山植物というと普段見慣れないことも

あり、必死に覚えようとすれども覚えた端から忘れてく……標高が高いせいかしら、それともやっばり歳……。里山で親しんでいる「カタチ」が、そのまま有るのを発見すると、「あ、あれだ！」と知人に会ったような嬉しさを覚えます。標高によって色が濃くなったり薄くなったり……。タカネマツムシソウは里のマツムシソウより濃い色をしている。背丈は30〜40センチで頭花も大きく、直径3〜5センチあります。

今年、8月中旬に飯豊山に行った。ハクサンフクロ、トモエシオガマ、ミヤマアキノキリンソウ、ウサギギク、ハクサンシャジン、ハクサンイチゲなどいっぱい咲いていた。その中でタカネマツムシソウの紫ばかりが目立っていた。品が良くしなやかな姿で、強風で、もまれる花は、友達同士仲良く遊んでいるように見えた。

